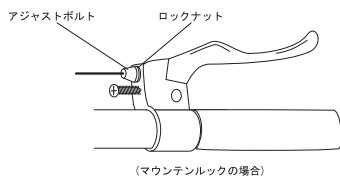


## ● ブレーキの調整-② ※図のパーツは代表的な形状のもです。実際のものとは仕様異なる場合があります。

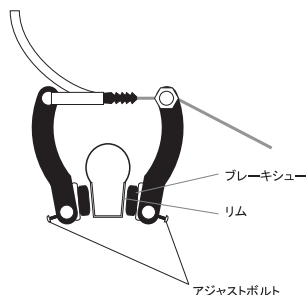
### ブレーキレバーの遊びと調節

長時間使用しますと、ブレーキワイヤーの伸びなどによりブレーキの効が悪くなります。その場合、下図のロックナットを一時的にゆるめて、指でブレーキゴムを両側からリムに押し付けるようにしてアジャストボルトを緩めてブレーキレバーの遊びを調整して、ロックナットを締めます。リムとブレーキゴムの隙間が左右平均して2mm位が適当です。



### Vブレーキタイプ

ブレーキが片効きしている場合、リムにブレーキシューが当たっている側のアジャストボルトを時計回りに回して調節してください。この場合、アジャストボルトを時計回りに回すとリムとブレーキシューの間隔が広くなり、アジャストボルトを反時計回りに回すとリムとブレーキシューの間隔が狭くなります。アジャストボルトを回した後にブレーキレバーを握ると、リムとブレーキシューとの間隔が変わります。



### 販売店に相談の前に

ブレーキワイヤーの交換時期は、1年ごととなっております。但し、サビやほつれの異常を確認したときは、すみやかに交換してください。

### 次の場合は販売店に相談してください。

1. アジャストボルトで調整し切れない場合。
2. ブレーキの片効きをしている場合。  
適切な適切なリムとの隙間が得られないばかりか、ブレーキシューが常にリムに当たり、磨耗が激しくなります。
3. ブレーキをかけたときシューがタイヤに当たる場合。  
タイヤ切れの原因になります。またシューの片減りを起こします。
4. ブレーキシューが磨耗して溝の残りが1mmになった場合。  
ブレーキシューを交換してください。
5. ブレーキの効が悪くなった場合。



注意

乗車する際は各部のガタ、ゆるみがないか確認してください。  
ガタ、ゆるみのある場合は再度各部の締め付けを行ってください。